

女性管理職は、数もロールモデルも足りません

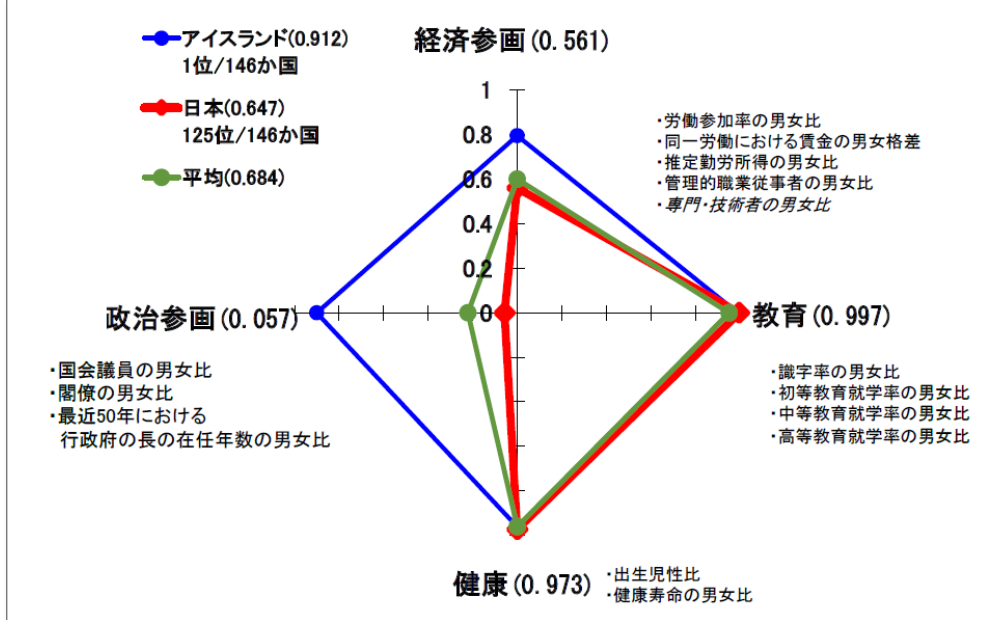


発見！ジェンダーパネル NO.2

女性管理職は、数もロールモデルも足りません

2023年の日本の「ジェンダー・ギャップ指数」(GGGI、世界経済フォーラム)は146カ国中125位でした。順位を押し下げているのは政治分野(138位)と経済分野(123位)。政治分野では、国会に占める女性議員割合の低さ、経済分野では、女性管理職比率の低さが主因です。第5次男女共同参画基本計画では、「指導的地位に占める女性の割合が2020年代の可能な限り早期に30%程度となるよう目指して取組を進める」としています。指導的地位にある女性のロールモデルが増えることは非常に重要なことです。国際社会の目標はすでに「2030年までに50%」。ジェンダーの視点に立った指導的地位への育成・登用が早急に望まれます。

各分野のジェンダー・ギャップ指数 (2023)



内閣府男女共同参画局ホームページ
男女共同参画に関する国際的な指数より抜粋

グラフ詳細はこちら→

